PAPAS-3の作り方

1. 使用する紙 ： AGケントを想定しています。

2. 部品の切り出し

（1） インクの出ないボールペンや、鋭利でない金属棒・板などで、折り線に沿って折り癖をつけます （定規を使って、折り線をなぞるようにしてください。）

注意） 主翼下面 と K-R-2、K-L-2 の間隔の広い破線は、折り曲げ線ではありません。
部品の貼り付け位置あわせの中心線です。

（2） 紙を曲げないように、大きく部品を切り出してから、線にそって正確に部品を切り取ってください。

（3） 主翼には、切りこみ線が 5箇所 ありますので、切り込みを入れてください。

（4） 下記の組み立て手順を一通り読んで、折り曲げる場所は、あらかじめ折り曲げておき、折り癖をつけておきましょう。 特に主翼の折り返しは、主翼の前縁部になりますので、きれいにしっかりと折り癖をつけてください。

（5） また、主翼の前方部には、K-L-1, 2、 K-R-1, 2 の部品を挟み込みますので、主翼の上面の該当部は、あらかじめ軽く湾曲させておくのが良いでしょう。

3. 胴体の製作

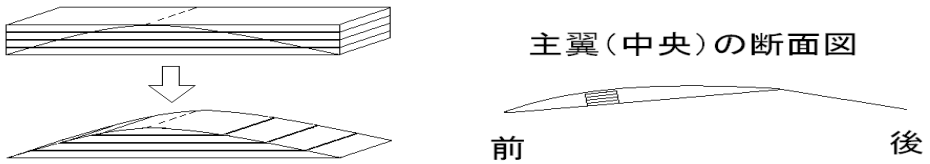
（1） 部品①を真ん中に②③, ④⑤, ⑥⑦, ⑧⑨, ⑩⑪の順で、中央から貼り合わせていきます。

4. 主翼の製作

（1） 部品 K-R-1 を4枚切り出して、重ねて貼り合わせます。
（2） 部品 K-L-1 も同様に切り出して、重ねて貼り合わせます。
（3） 部品 K-R-2 を4枚切り出して、重ねて貼り合わせます。
（4） 部品 K-L-2 も同様に切り出して、重ねて貼り合わせます。

K-R-2 の中心を、主翼の下面の中央の右の破線に合わせて貼り合わせるのですが、K-R-2の断面が主翼中空洞部の断面になるように、先に

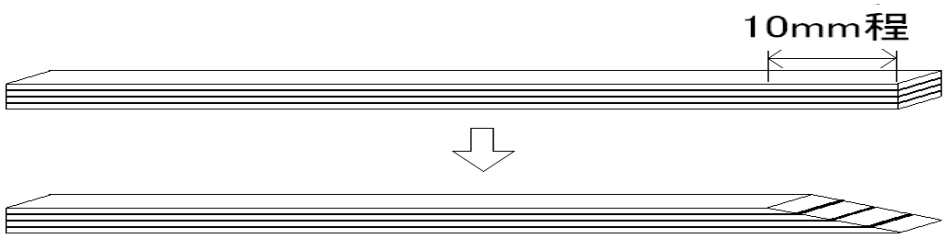
（5） K-R-2 の側面が、下図のようになるように整形しておきます。



（6） K-L-2 も同様に整形しておきます。
（7） K-R-2、K-L-2の中心が、主翼の下面の中央にある、破線に一致するようにして貼り付けます。

K-R-1 の中心を、主翼の下面の翼弦の前から1/3程のところにある、破線に一致するようにして貼り合わせるのですが、翼端の方を、先に

（8） K-R-1 の側面が、下図のようになるように整形しておきます。



（9） K-L-1 も同様に整形しておきます。
（10） K-R-1、K-L-1の中心が、主翼の下面の翼弦の前から1/3程のところにある、破線に一致するようにして、貼り付けます。

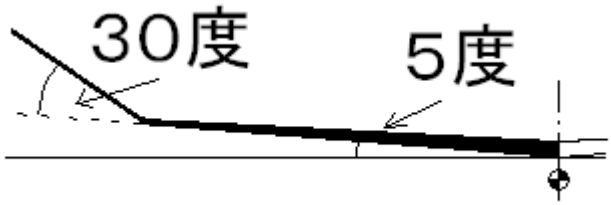
このとき、K-R-1 と K-R-2 がT字型になるように隙間がないようにしてください。
K-L-1 と K-L-2 も同様です。

（11） 主翼の前縁で折り返し、主翼の下面の翼弦の後ろ1/3の部分に接着剤を塗り、上面と接着させます。

（12） 次に、翼端の主翼上面と下面を、それぞれ30度の上反角になるように折り曲げてから、接着します。

（13） 主翼の中央部は、5度の上反角になるように、主翼の下面を曲げ、主翼中央・上面継ぎ手（下）で、左右の主翼の上面を接合します。

（14） 主翼中央・上面継ぎ手（下）の上に、主翼中央・上面継ぎ手（上）を重ねて貼り合わせます。



5. 機体の組み立て

（1） 胴体に、主翼を取り付けます。 このとき主翼下面の折り曲げ線が、胴体の主翼取り付け部の頂点にくる位置に接着します。

（2） 胴体に、水平尾翼を取り付けます。

6. 重心の調整

（1） 基本的に、AGケント紙で製作すると、機首に重り等を入れなくて重心が合います。

（2） 好みで、重心調整用重り と書いた紙の部品を機首に貼り付けてください。

7. 塗装

（1） 防水のために、ラッカー等を塗ってください。 乾燥後は、600番程度のサンドペーパで軽くこすると、紙の表面のざらつきや毛羽立ちが無くなります。

その他

・ 機首の先端には、安全と機体の保護のために、スポンジゴムテープ等を貼ってください。

・ AGケント以外の紙を使用される場合は、紙の厚さにより、K-R-1, 2, K-L-1, 2 の重ね合わせる枚数を調整してください。

以上